食育

4，5歳児　サバの解体ショー

令和４年 10 月 13 日（木）
社会福祉法人晋栄福祉会
新福島ちどり保育園

10 月 13 日（木）に４歳児、５歳児がサバの解体ショーに参加しました。はじめに、保育者が魚クイズを行うと、さまざまな魚の種類を見て「これはマグロだよ」「なんのお魚だろう」などと友だちと話し合いながら積極的に手を挙げ参加する姿が見られました。その後調理師さんに本物のサバを見せてもらうと、「大きいね」「どこに骨が入っているの」などと感じたことを話し合い、実際に三枚におろされるのを見て内臓が出てくると、「うわぁ～」と少しびっくりした様子の子どもたちでした。近くで見せてもらうと、匂いを嗅いだり、血が出ていることに気づいて友だちと共有したりと子どもたちの反応はさまざまでした。また、卵の種類や野菜の色々な切り方について教えてもらうと、子どもたちは興味津々で見る姿がありました。ポップコーンの作り方を見せてもらうと「塩味が好きなんだ」「イチゴ味もおいしいんだよ」と、保育者や友だちとの会話を楽しんでいました。小さな粒が鍋で温められることで「ぽん」と音を立てながらポップコーンになると歓声が上がり、とんでくると思って手を前にして待っている姿がかわいらしかったです。膨らんで鍋の中がポップコーンでいっぱいになると「すごい！めっちゃ増えている」と嬉しそうにしていました。その後、出来立てのポップコーンを食べさせてもらうと「おいしい」「見て、大きいのがあった」と友だちと楽しそうに食べていました。最後に子どもたちに「いただきます」「ごちそうさま」の意味について問いかけると、「鳥や魚の命をもらって食べるから言うんだよ」「給食さんや作ってくれた人にありがとうの気持ちを込めて言うんだよ」と伝えてくれました。これからもこのような活動を通して、食べ物を大切にすること、関わってくれたたくさんの人に感謝する大切さを伝えて行きたいと思います。

これはなんの魚でしょう？

血が出ているね

ポップコーン完成！

三枚におろしてくれました

野菜のさまざまな切り方を教えてくれました

うずらのたまごって
殻が青いんだね

おいしいね！

蛇腹きゅうりの完成

どうしてつながっているのかな